

# 西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.75 2011年11月号

みなさんのご自身の仕事が好きですか？あるいは、楽しんでいますか？

今月は、この、「毎日楽しく」で何度も紹介している京セラ名誉会長稲盛和夫さんの、仕事への取り組み方に対する考え方をご紹介します。

稲盛さんは、自身の就職活動がうまくいかず、もともと望んでいた仕事には就けなかったそうで、就職した会社も大変貧乏な会社だったそうです。おまけに、理工系の技術者にとって当時花形といわれていた分野とは違い、稲盛さんが配属された研究室での研究対象はまったく未知の分野で、確立された文献もなく、研究設備も指導してくれる上司や先輩もいない、大変厳しい環境だったそうです。一時は転職も考えたそうですがその願いもかなわず、そこで働かざるをえなかった稲盛さんが出した結論は、「とにかく目の前の仕事に全力を注いでみることに、だったそうです。すぐにはその仕事を好きになることができなくても、少なくともその仕事が嫌いだというネガティブな感情を追い払うようにして仕事に打ち込んでいるうちに、不思議と仕事が好きになっていったといいます。そして仕事が好きになると自然に成果も上がるようになり、周囲からは評価されるようになり、ますます仕事が好きになるという好循環になっていったそうです。

最初から好きなことを仕事にできる人など千人に一人、万人に一人もいるものではなく、ほとんどの人が、人生の門出を好きでもない仕事に就くことからスタートするのが普通の場合ではないかと稲盛さんはいいます。好きな仕事を求めようとすれば、一生、「青い鳥」を探すことになりかねないため、充実した人生を送るには、就いた仕事を好きになるしかないのかもしれない。ただし、仕事というのは普通にやっけていてもなかなか好きになるのは難しいので、稲盛さんがいうように、強い意志が必要になりそうです。最近は仕事と生活のバランスという、「ワークライフバランス」という言葉もよく聞きますが、仕事が好きで楽しければ、そういう考え方そのものがなくなってしまうのかもしれない。

最後に、「論語」からの言葉をご紹介します。  
「知っているというのは好むのには及ばない。好むというのは楽しむのには及ばない」。

仕事を楽しむことができれば、人生はより楽しくなりそうですが、みなさんはどう思われますか？

